

マーケットの動き (2021年10月18日～10月22日)

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

週の前半は経済活動再開への期待や円安進展などのメリットを享受できる銘柄が買われ、底堅い推移となりました。しかし、米国長期金利上昇により米国株がハイテク株中心に下落したことを受け、半導体関連中心に大きく下げる局面もありました。

週末にかけては、中国恒大集団が一部社債の利払いを実施したと中国メディアが報じたことなどにより、やや値を戻して取引を終えました。

投資環境見通し (2021年10月)

国内株式相場は、さらなる企業業績の上方修正期待から堅調に推移

依然として部材供給制約の生産活動に対する影響が長引いていますが、国内やアジア地域での新型コロナウイルス感染拡大が一服し、ワクチン接種が進展していることから、今後は改善に向かうとみています。また、国内経済活動の正常化に向けた動きから、潜在的な消費需要が今後は顕在化するとみられ、企業業績のさらなる上方修正が期待されます。外部環境については、米国における金融政策や連邦政府の債務上限問題、中国景気に対する懸念などの先行き不透明感が残り、これらの動向次第で国内株式相場は変動率が高まる場面も予想されます。しかし、企業業績の上方修正余地は大きいとみられることから、国内株式相場は次第に堅調に推移するとみています。

	10月22日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX (東証株価指数)	2,002.23	▲1.07%	▲2.02%	4.15%	23.61%
日経平均株価	28,804.85	▲0.91%	▲2.82%	▲1.31%	22.71%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

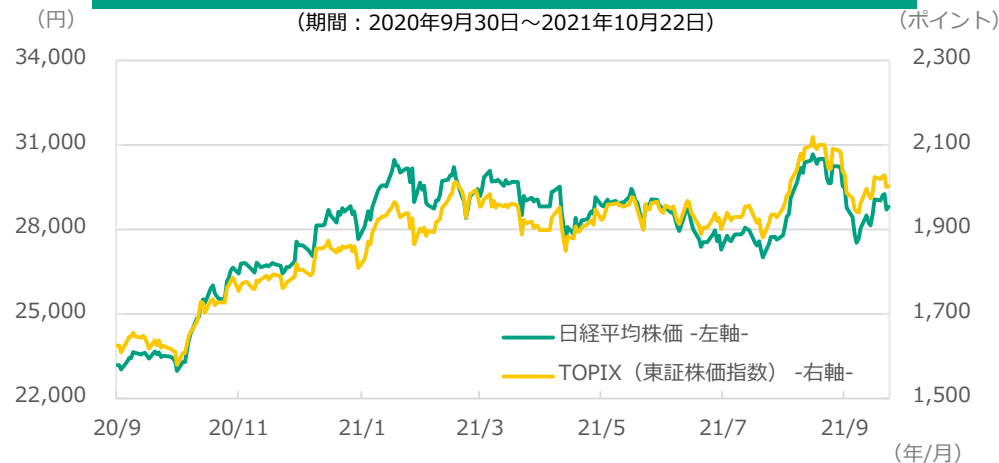
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202110_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し(総合)の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

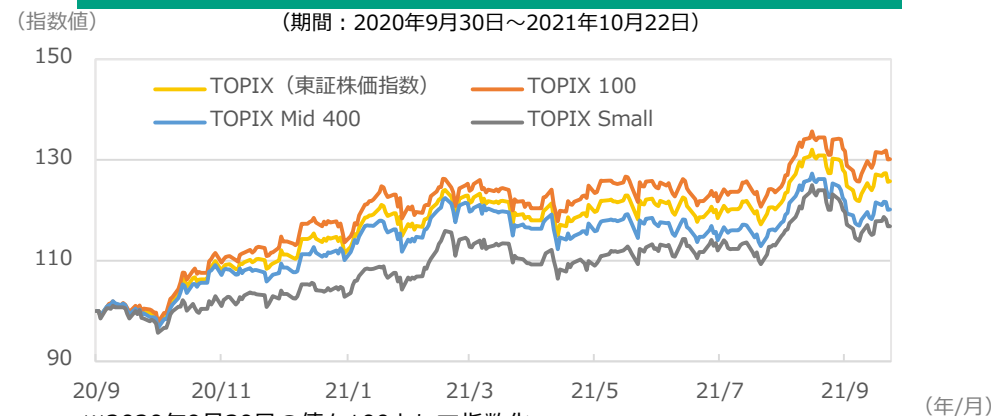
日経平均株価、TOPIXの推移

(期間：2020年9月30日～2021年10月22日)



TOPIX規模別指数の推移

(期間：2020年9月30日～2021年10月22日)



※2020年9月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成